

永田町新潮派 平沢勝栄

# 俺がやらねば



「はじき」していることが一し。10代、20代、30代前半、一番新聞を読まない世代。新聞を読まない人は全部、自民党(の支持層)だ」  
麻生太郎副総理兼財務相は6月24日、新潟県内の講演でこう述べた。

一部マスコミは、ときに事実を曲げてまで政府・与党を攻撃するが、今やマスコミ報道に接しない若年層では、自民党支持率が高い。麻生氏が言いたかったのは、そのことだろう。  
私は、2015年6月11日の衆院憲法審査会で、自衛隊や、当時審議中だった安全保障法制を念頭に「学者の意見

## と報道は曲げた事実 だ覚悟、闘う断固



何かと発言が物議を醸す麻生氏。謙虚な姿勢は不可欠だが、事実を曲げた報道は許されない

に從って戦後の行政、政治が行われていたら、日本はどんなでもないことになっていた」「憲法榮えて国滅ぶの愚を犯してはならない」と発言した。日本の憲法学者のほとんどは、自衛隊は違憲であり、存在してはならないという立場だ。日本を取り巻く情勢に対応できない非現実的な見解であり、私は、その点を指摘し

ただ。

しかし、朝日新聞は翌日朝刊の社説で、「専門家に対する侮辱であり、国民に対する脅し」などと、私の発言のほうを激しく批判した。「自衛隊は憲法違反だ」と、今でも思っているのだらう。

16年2月の衆院予算委員会、当時民主党の山尾志桜里議員は「保育園落ちた日本死ぬ」の匿名ブログを取り上げ、次のように主張した。

「委員に(書面で)配ってもいけない。国民にフリップで見せてもいけない」という。都合の悪い声は、徹底して無視するという安倍晋三政権の体質の象徴となる対応だ」  
しかし、このブログは「出所不明で、資料としての使用は控える」と、予算委理事会で決めた。その合意を無視した発言だったので、私を含

め、多くの議員が抗議した。

テレビ朝日のコメントーターは、「ブログが共感を呼び、大きなうねりになっていくことが重要だ」として、事実を歪曲(わいぎょく)した山尾氏ではなく、抗議したわれわれを強く批判した。

このように、一部マスコミは常に、政府・与党の失言を探し、攻撃の機会をうかがっている。前後の脈絡を無視し、発言の一部を切り取って問題にしようとする。私が常々、報道で確実に信頼できるのは、「日付」「テレビ・ラジオ欄」「死」記事の3つだけだと思っているゆえんだ。われわれは、謙虚な姿勢に徹しながら、不当な報道に対しては、断固として闘う覚悟が必要だ。麻生氏が冒頭の発言で最も言いたかったのは、そのことかもしれない。  
(自民党衆院議員)